

令和5年度

学校要覧

長野県消防学校

目 次

1	消防学校の沿革	1
2	施設の概要	
	(1) 規 模	1
	(2) 主な施設	2
3	主な教材等	3
4	令和5年度教育計画	
	(1) 教育目的	5
	(2) 重点目標	5
	(3) 教育訓練の種類	5
	(4) 教科別実施計画	8
	(5) 教科目別時間表	9
	(6) 消防学校年間カレンダー	13
5	令和4年度教育訓練実施状況	
	(1) 消防職員に対する教育訓練	14
	(2) 消防団員に対する教育訓練	15
	(3) その他の教育	16
6	資 料	
	(1) 令和4年度消防本部別修業者数	17
	(2) 令和4年度市町村別修業者数（団）	18
	(3) 過去10年の卒業者・修業者数	20
	(4) 長野県消防学校管理規程（抄）	21

1 消防学校の沿革

昭和 31 年 5 月	「長野県消防訓練所」を長野市県町 452 番地（現長野県土地改良会館）に設置
昭和 34 年 10 月	「長野県消防学校」に改称
昭和 37 年 1 月	長野市北石堂町 1022 番地 国保会館内（現信学会長野予備校）へ移転
昭和 37 年 5 月	長野市岡田 140 番地 長野県蚕業試験場内（現 NBS 長野放送）へ移転
昭和 41 年 4 月	長野市県町 452 番地（現長野県土地改良会館）へ移転
昭和 43 年 8 月	長野市篠ノ井布施高田 967 番地 1（現長野県埋蔵文化財センター）へ移転
昭和 60 年 4 月	長野市篠ノ井東福寺 2375 番地 1 へ新築移転
平成 5 年 3 月	管理教育棟に救急実習室、普通教室等を増設
平成 7 年 3 月	土地 4,175 m ² 拡張し、宿泊施設（西寮）及び水出ポンプ操法場を増設するとともにサーキットトレーニング場を移設
令和 5 年 3 月	サーキットトレーニング場の施設を撤去

2 施設の概要

(1) 規模

敷地 36,654.42 m² 建物 7,219.20 m²

名称	構造	規模	延面積	摘要
管理教育棟	鉄筋コンクリート造	2階建	1,695 m ²	
宿泊棟（東寮）	鉄筋コンクリート造	3階建	1,925 m ²	寮室（17室：102人収容） 洋室8室各6人 和室9室各6人
宿泊棟（西寮）	鉄筋コンクリート造	2階建	850 m ²	寮室（8室：32人収容） 洋室8室各4人
主訓練塔	鉄筋コンクリート造	9階建	575 m ²	高さ 30.85m
副訓練塔	鉄筋コンクリート造	7階建	294 m ²	高さ 22.2m
屋内訓練場	鉄骨造	平屋建	1,105 m ²	筋力トレーニング場併設
屋外訓練場	土グランド一部アスファルト	・・・	12,000 m ²	100m×120m
放水訓練場	アスファルト	・・・	3,724 m ²	38m×98m
サーキットトレーニング場	芝	・・・	2,058 m ²	21m×98m
火災体験棟	鉄筋コンクリート造	3階建	265 m ²	
水難救助訓練施設	コンクリートブロック（更衣室棟）	平屋建	98 m ²	25m×15m 7コース 深さ 1.6～2.3m
車庫	鉄骨造	平屋建	392 m ²	消防車両 10 台収容 空気充填室併設
屋外便所・物置	コンクリートブロック・鉄骨造	平屋建	21 m ²	

(2) 主な施設

名 称	室 名	室数	面積 (㎡)	室 名	室数	面積 (㎡)
管 理 教 育 棟	校 長 室	1	33.0	普 通 教 室	2	184.4
	事 務 室	1	115.5	大 教 室	1	124.3
	講 師 控 室	1	9.7	理 化 学 実 験 室	1	107.7
	会 議 室	1	59.3	理 化 学 準 備 室	1	16.5
	医 務 室	1	18.4	視 聴 覚 教 室	1	202.3
	函 書 室	1	46.6	救 急 実 習 室	1	236.1
	展 示 室	1	78.0	印 刷 室	1	15.0
	教 材 室	1	34.7	更 衣 室	2	34.2
宿 泊 棟 (東 寮)	寮 室	17	659.2	調 理 室	1	60.7
	寮 直 室	1	19.2	調 理 職 員 控 室	1	12.8
	面 会 室	1	12.0	浴 室 ・ 脱 衣 室	2	72.9
	舎 監 室	1	19.1	玄 関 ・ ホール	1	74.1
	集 会 室	1	80.8	洗 面 洗 濯 室	3	55.9
	食 堂	1	114.0	電 気 機 械 室	1	186.3
宿 泊 棟 (西 寮)	寮 室	8	261.8	洗 面 洗 濯 室	2	18.7
	集 会 室	1	32.6	リネン倉庫	1	20.5
	玄 関 ・ ホール	1	72.2	電 気 機 械 室	1	31.0
	浴 室 ・ 脱 衣 室	1	18.4			
名 称	内 容					
訓 練 塔	主訓練塔：1階・消防設備実習室、煙発生炉 2階・救助器具庫、安全ネット展張設備、3～9階・訓練室 副訓練塔：1階・資器材庫、2～7階・訓練場 そ の 他：仮設訓練塔（高さ7m）、煙道					
屋 内 訓 練 場	筋力トレーニング施設、救助訓練用施設、器具庫、便所、災害用バルクシステム					
屋 外 訓 練 場 放 水 訓 練 場	グラウンド、放水訓練場、貯水槽 40 m ³ ×6、サーキットトレーニング場 屋外便所2					
火 災 体 験 棟	煙発生炉、濃煙熱気訓練室、火災体験室、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、連結送水管					
水 難 救 助 訓 練 施 設	更衣室棟：更衣室、シャワー室、洗眼所、乾燥室、器具庫、便所、機械室 プ ール：長さ 25m×幅 15m・水深 1.6m～2.3m					
車 庫	空気充填設備、器具庫、放水訓練壁併設					
宿 舎	家族用 1、単身用 2 161.22 m ²					

3 主な教材等

区分	分類	品名(数量)
理化学	引火点試験器	タグ密閉式(1)、セタ密閉式(1)、ペンスキーマルテン(2)、クリーブランド開放式(1)
	石油燃焼実験装置	石油燃焼限界実験器具(1)、石油蒸発爆発実験器具(1)、地下タンク爆発実験器具(1)
	化学実験器具類	低温乾燥機(1)、高温水槽(1)
	電気温度等測定器具類	電圧計(4)、電流計(4)、自記記録計(1)、放射温度計(2)、表面温度計(1)、変圧計(2)、静電気測定(1)、電気鑑識実験盤(4)
	分析装置	酸素濃度測定器具(2)、有毒ガス測定器具(1)
	化学実験装置	PHメーター(1)、粉塵爆発実験器具(1)、バンデグラフ(1)
予防査察	消防用設備	消火器、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、泡消火設備、二酸化炭素消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、自動火災報知器設備、ガス漏れ火災報知設備、非常警報器具、排煙設備、連結送水管、救助袋、緩降機(各一式)、移動用屋内消火栓(3)
	消防用設備検査器具	煙感知器試験器(1)、熱感知器試験器(1)
	カット模型	消火器(2)、木造建物(1)、耐火造建物(1)
	危険物施設検査器具	北川式ガス検知器(5)、可燃性ガス測定器(1)
	査察関係測定器具	照度計(1)、接地抵抗計(1)、音響測定(1)
	調査用具類	炭化深度測定器(1)、一酸化炭素測定器(1)、風速計(2)
警防救助	発泡装置	ラインプロポーションナー(3)、ピックアップ式泡ノズル(3)、簡易式泡器(3)
	発煙装置	煙発生炉(2)、煙発生器(1)
	呼吸器具	空気呼吸器(40)、酸素呼吸器(3)、エアラインマスク(2)、高圧空気製造設備(1)
	救助用資器材	大型油圧スプレッダー・カッター(各1)、油圧式救助器具(2)、エンジンカッター(5)、ガス溶断器(2)、酸素溶断器(1)、エアカッター(1)、空気鋸(2)、携帯コンクリート破壊器具(3)、電気ハンマードリル(1)、削岩機(2)、マット型空気ジャッキ(2式)、チェーンソー(2)、エアーマット(1)、救命索発射装置(1)、縦坑救命器具(1)、可搬式ウインチ(5)、送排風機(1)、サバイバーリング(2)、信号機付投光器(4)、ワイヤーはしご(1)、救助用担架(10)、万能斧(2)、張力計(3)、水難救助器具(2式)、救助用支柱器具(3)、救助用簡易起重機(1)、チューブロック(1)、車両移動器具(1)、発電機(4)
	無線機	携帯無線機(5) 携帯トランシーバー(18)
	安全管理機器類	安全ネット(2)、安全マット(8)、携帯警報機(8)
	NBC資器材	化学防護服・レベルA(2)レベルB(5)、レベルC(10)、Dセット(20)、大型除染テント(1)、防毒マスク(7)、携帯用ガス測定器(5)、放射線防護服(2)、放射線測定器 表面汚染測定器(1)、空間線量測定器(1)、個人用放射線測定器(5)
防災	気象関係器具	風位風速計
	水防資器材	水防工作用資器材
救急	訓練用人形	BLS用人形(成人13、小児5、乳児6)高度処置シミュレーター(6)気道管理用人形(成人10、乳児10)、静脈穿刺用腕モデル(8)、分娩介助用モデル(1)
	観察用資器材	患者監視モニター(3)、12誘導心電図(4)、パルスオキシメーター(11)、聴診器(70)、血圧計(携帯20、壁掛7、他2)

救急	呼吸管理用資器材	BVM(成人20、乳幼児3)、酸素バッグ(10)、レスピレーター類(6)、喉頭鏡セット(15)、ビデオ喉頭鏡(3)、吸引器(10)
	循環管理用資器材	AED(2・半自動6)、AEDトレーナー(9)、自動式胸骨圧迫器(2)、MAST(1)、輸液ポンプ(1)
	その他の処置用資器材	スクープストレッチャー(8)、バックボード(10)、マジックギブス(7)、全身用陰圧副子(1)、KED(3)
	般送用資器材	メインストレッチャー(5)、サブストレッチャー(1)、布担架(8)、棒担架(5)
	人体模型	骨格モデル(1)、頭部モデル(1)、頭部断面モデル(2)、喉頭モデル(1)、心臓模型(1)
機械	自動車構造機能装置	エンジン構造カット模型
	ポンプ装置	ポンプ構造カット模型
	自動車整備器具	コンプレッサー(1)、充電器(1)
実科訓練	消防自動車	ポンプ車(2)、化学車(1)、資機材搬送車(1)、救急車(1)
	放水器具	管そう(40)、噴霧ノズル(40)、無反動ノズル(2)、コンスタントフローノズル(3)、フログガン(3)、管そう槍(1)、放水銃(2)、集水器(1)、双口接手(6)、定流量器(1)、媒介金具(30)、ホースカー(5)、ホースランプ(4)、ホースブリッジ(2組)、組み立て水槽(4)、火点表示(4)
	可搬はしご	単はしご(8)、二連はしご(1)、三連はしご(12)
	照明器具	可搬式投光器(4)
	破壊器具	とび口(10)、おの(3)、かけや(3)、大ハンマー(2)
	救命用人形	砂入人形(7)、救命人形(2)
	防火衣等個人装備	防火衣(10)、防火帽(10)、耐熱服(2)、指揮棒(2)
	火源確認装置	火源探知器
体育訓練	器械体操器材	鉄棒(2)、マット(1)
	球技用器材	卓球用具(3)、バレーボール用具(一式)、サッカーボール用具(一式)、野球・ソフトボール用具(一式)、バドミントン用具(一式)、テニス用具(一式)、審判台(2)、得点板(1)
	筋力トレーニング器材	筋力トレーニング機器設備
	体位、体力測定器材	体重計(1)、握力計(2)、背筋力計(1)、ジャンプメーター(1)、前屈測定器(1)、上体そらし計(1)
視聴覚	AV機器類	カメラ映写設備(2)、VTR設備(2)、プロジェクター(2)、アナライザー設備(1)、拡声設備(3)、デジタルサイネージ(1) 他PC等
	写真器材	ビデオカメラ(2式)、カメラ(2)
他	楽器類	スネアドラム(7)、バスドラム(2)、シンバル(2)、指揮棒(2)

4 令和5年度教育計画

1 教育目的

消防の職務を認識させるとともに、消防に関する知識技術の習熟と気力・体力の錬成を図り、地域住民の期待に応え、確実に心の通った消防活動ができる消防人を養成します。

2 重点目標

教育訓練に当たっては、次の事項を重視し、徹底を図ります。

- (1) 到達目標を設定し、その実現に向けた教育訓練の手法を常に模索し、一定レベルの技能が習得できるようにします。
- (2) 専科教育充実のため、専門的知識を持った講師の招聘及び実験や訓練方法の工夫を図ります。
- (3) 寮生活を通じて、団体規律の遵守、集団行動適応力の向上を目指します。
- (4) 健康状態の把握と訓練機材の点検、及び服装等の選択により、熱中症やケガ、感染症の発生を最小限に抑えます。

3 教育訓練の種類

教育訓練の種類及び内容は、次のとおりとします。

(1) 消防職員に対する教育

ア 初任教育

初任科

消防職員としての服務義務、消防業務全般の概要を理解させるとともに、所属に配置後、直ちに災害現場等で活動できるよう教育します。

イ 専科教育

(ア) 救助科

救助活動に係る専門的知識及び高度な技能、技術を習得させ、これらを活用した応用力を十分発揮できるよう教育します。

(イ) 警防科

警防・防災に関する専門的知識を習得させ、各種災害の様態に応じた部隊活動が効果的にできるよう教育します。(特殊災害科と隔年開催)

(ウ) 火災調査科

火災原因調査等に係る専門的知識、的確な判断能力を習得させ、火災調査に係る技能を十分に発揮できるよう教育します。

(エ) 危険物科

化学的特性等に関する専門的知識を習得させ、危険物施設の許認可等の規制と違反処理が適切にできるよう教育します。

(オ) 救急科

救急隊員の資格を取得しようとする消防職員に対し、医学に関する基礎知識、応急処置時における的確な観察・判断能力、処置技術等の専門的知識、技能を習得するよう教育します。

(カ) 予防査察科

火災予防に係る防火管理等の専門的知識及び技能を習得させ、防火対象物の規制と違反処理が適切にできるよう教育します。

ウ 幹部教育

(ア) 上級幹部科

上級幹部としての業務管理、人事管理、危機管理等を習得させ、組織全体を円滑に管理運営できるよう教育します。(隔年開催)

(イ) 幹部科

中級幹部としての指導力の向上及び災害現場における指揮管理能力を習得させ、上司の補佐及び部下の指導監督を行い、組織を円滑に管理運営できるよう教育します。

エ 特別教育

(ア) 操法指導員講習

ポンプ操法に係る専門的知識、技術を習得させ、操法訓練の指導者として活動できるよう教育します。

(イ) 救急高度化研修 (県MC関係)

気管挿管病院実習の出向予定者に対して、円滑に実習ができるよう特別訓練と技能確認を行います。

(ウ) ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習 (県MC関係)

気管挿管認定救命士及び認定予定者で、ビデオ喉頭鏡による挿管認定を受けようとする者に対して、定められた講習を行います。

(エ) 気管挿管技能認定救急救命士再講習 (県MC関係)

気管挿管の実施が一定期間なかった認定救急救命士に対し、再講習を実施します。

(オ) ドローン講習

ドローンの基本的知識、操縦方法を習得させ、消防活動時の状況把握及び初期活動時の情報収集を円滑にできるよう教育します。

(2) 消防団員に対する教育

ア 基礎教育

(ア) 1日入校

消防学校施設を使用し、基礎教育の標準的な科目の中から選定して実施します。

(イ) 校外教育

地区消防協会並びに単位消防団からの要請に基づき、現地に職員を派遣して、基礎的な科目を選定して実施します。

イ 専科教育

(ア) 警防科

火災防ぎょ並びに震災等に必要の基礎知識を学び、放水技術や資機材取扱い等の活動訓練を実施し、団員に伝達できる人材を養成します。(R4年度は感染防止で中止)

ウ 幹部教育

(ア) 指揮幹部科（現場指揮課程）

災害時における現場指揮及び安全管理等に必要な知識、技術を習得させ、的確な指揮命令ができるよう教育します。

(イ) 指揮幹部科（分団指揮課程）

災害時における分団の管理運営及び効果的な現場活動ができるよう教育します。

エ 特別教育

(ア) 操法講習

ポンプ車及び小型ポンプの操法要領を習得させ、各団に伝達できる指導者を養成します。

(イ) 訓練礼式科

各個訓練、部隊訓練を通じ、規律と秩序ある団体行動を習得させ、統制の取れた活動ができるよう教育します。

(ウ) ラッパ科

ラッパ吹奏とドラム打法の高度な技術を習得させ、団の統制と士気の高揚が図れるよう教育します。

(エ) ドローン講習

ドローンに関する規定及び操縦技術を習得させ、災害現場で活用できるよう教育します。

(オ) オフロードバイク講習

オフロードバイクの有効性、車体の基本特性や基本操作等の知識及び実技訓練において基礎技術を習得させ、災害現場で活用できるよう教育します。

(カ) 受託教育

・指導員研修（県消防協会からの委託研修）

幹部の心構え、災害現場における指揮要領等を習得させ、団の指導者として活動ができるよう教育します。

・副団長講習（県消防協会からの委託講習）

副団長に必要な知識や礼式及び消防行政施策についての講習を行います。

(3) その他の教育

(ア) 自衛消防隊講習

企業若しくは医療福祉施設等の自衛消防隊員に対し、消防・防災に必要な知識、技能を習得させ、災害時実際に活動できるよう教育します。

（R 4年度は感染防止で中止。R 5年度から2日を1日に集約して実施）

(イ) 女性消防隊科

消防活動に必要な知識を習得させ、避難誘導や消火活動及び動力ポンプの取扱いができるよう教育します。

(ウ) 県庁自衛消防隊（財産活用課からの依頼）

県庁の自衛消防団員に対し、防火、避難誘導、初期消火等の基本活動ができるよう教育します。（R 2年度から要請なし）

(4) 教科別実施計画

(1) 消防職員

(令和5年3月31日現在)

科 別	期別	教育期間	予定人員	延日数	実日数	時間数	対 象 者	
初任教育	初 任 科	66	自: 4月11日 至: 10月1日	85(10)	174	115	802	初任科教育を必要とする者
専科教育	救 助 科	33	自: 5月10日 至: 6月14日	28	36	26	181	救助担当者又は予定者 定員32名 ※
	警 防 科	40	自:10月16日 至:10月27日	35	12	10	67	消防部隊の隊長(士長以上)
	特殊災害科		自: 月 日 至: 月 日					警防科と隔年実施
	火災調査科	51	自:11月16日 至:12月 1日	38	16	11	74	調査担当者又は予定者
	危険物科	39	自:12月 4日 至:12月 8日	29	5	5	34	危険物担当者又は予定者
	救 急 科	27	自: 1月 9日 至: 3月 6日	62(6)	58	40	277	救急隊員資格取得希望者
	予防査察科	56	自: 1月29日 至: 2月 9日	32	12	10	67	予防担当者又は予定者
幹部教育	上級幹部科	18	自:12月 6日 至:12月 8日	18	3	3	18	司令長以上(司令以上で運用)※隔年
	幹 部 科	42	自: 1月15日 至: 1月26日	30	12	10	67	司令・司令補又は司令補昇任予定者
特別教育	操法指導員講習	27	4月 6日	57	1	1	6	ポンプ操法指導者又は予定者
	救急高度化研修 (気管挿管集中トレーニング)	23	自: 3月11日 至: 3月15日	25(1)	5	5	34	病院実習出向予定者 ※県MC関係
	ビデオ硬性挿管用 喉頭鏡講習	7回	12月11日調整	定員36	1	1	7	気管挿管技能認定救命士 若しくは認定予定者 ※未受講者(県MCと調整)
		8回	12月12日調整	定員36	1	1	7	
	気管挿管技能認定 救急救命士再講習	—	12月20日調整	定員36	1	1	7	気管挿管技能認定救命士 ※県MCと調整
		—	12月21日調整 ※該当事が多い場合	定員36	1	1	7	
ドローン講習	2回	10月10日 (予備日11日)	各本部 1チーム	1	1	7	※ドローン運用隊員又は予定者	

(2) 消防団員

教 育	科 別	期別	教育期間	予定人員	延日数	実日数	時間数	対 象 者	
基礎教育	1日入校		随 時		1	1		消防団	
	校外教育		教育期間1日を単位として1協会1回実施					地区消防協会消防団	
			教育期間1日を単位として1団1回実施					単位消防団	
専科教育	警 防 科	3	自:10月13日 至:10月14日	23	2	2	13	消防団員	
幹部教育	指揮 幹部科	現場指揮課程	15	自: 3月15日 至: 3月16日	46	2	2	12	班長以上の者
			16	自: 3月22日 至: 3月23日	15	2	2	12	
		分団指揮課程	8	自: 3月 8日 至: 3月 9日	48	2	2	12	
特別教育	操 法 講 習	—	4月15日	122	1	1	4	P車操法・小型P操法の 指導者若しくは操 員で、伝達可能な者	主に東北信
		—	4月22日	181	1	1	4		主に中南信
	訓練礼式科	99	自:10月27日 至:10月28日	51	2	2	12	消防団員	
	ラッパ 科	105	自:10月20日 至:10月21日	42	2	2	12	ラッパ及びドラム担当者又は予定者	
		106	自:11月10日 至:11月11日	32	2	2	12		
	ドローン講習	4	10月28日	16	1	1	6	消防団員	
オフロードバイク講習	4	10月14日	10	1	1	6	中型二輪免許を持つ消防団員		
受託教育	指導員研修	—	自:12月14日 至:12月15日	30	2	2	12	指導的立場の団員 (県消防協会から受託)	
	副団長講習	—	6月10日	50	2回	2回	3	副団長 ※午前・午後 (県消防協会から受託)	

(3) その他

科 別	期別	教育期間	予定人員	延日数	実日数	時間数	対 象 者
自衛消防隊講習	—	6月23日	40	1	1	7	一般企業若しくは医療福祉施設の 自衛消防隊員 ※R4中止
女性消防隊科	21	9月 9日	20	1	1	6	消防団員・自治会の自衛消防隊員 防火クラブなど
県庁 自衛消防隊	—	依頼があれば 5月8日 調整	30	1	1	6	県庁自衛消防団員

(5) 教科目別時間表

① 消防職員に対する教育

ア 初任教育

初任科

令和5年度

教科目	時間数	教科目	時間数
倫理	4	防災	20
法学基礎・消防法	18	救急	37
消防組織制度	8	消防機械・ポンプ	16
サービスと勤務	22	訓練礼式	43
理化学	15	消防活動訓練	84
予防広報	21	救助訓練	51
危険物	8	機器取扱訓練	54
消防用設備	13	消防活動応用訓練	84
査察	25	体育	31
建築	10	実務研修	21
安全管理	14	選択研修	44
特殊災害と保安	11	行事その他	103
火災防ぎよ	30		
火災調査	15	合計	802

イ 専科教育

(ア) 救助科

教科目	時間数	教科目	時間数
講話	1	救助訓練	76
安全管理	4	総合訓練	33
災害救助対策	33	体育	11
救急	3	効果測定・行事	8
救助器具取扱訓練	12	合計	181

(イ) 警防科

教科目	時間数	教科目	時間数
講話	1	実技訓練	18
防災	8	事例研究	3
警防対策	10	健康管理	2
消防戦術と安全管理	17	効果測定・行事その他	4
図上訓練	4	合計	67

(ウ) 火災調査科

教科目	時間数	教科目	時間数
原因調査関係法規	6	調査書類	14
原因調査	32	事例研究	4
調査実習	7	効果測定・行事	3
損害調査	5		
鑑定	3	合計	74

(エ) 危険物科

教科目	時間数	教科目	時間数
危険物行政の現状と課題	3	事例研究	3
危険物化学	5	効果測定・行事	3
危険物規制	20		
		合計	34

(オ) 救急科

教科目	時間数	教科目	時間数
救急業務及び救急医学の基礎	57	実習	73
応急処置の総論	75	効果測定	13
病態別応急処置	32	行事その他	7
特殊病態別応急処置	20	合計	277

(カ) 予防査察科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
講 話	1	違反処理 (内実習 7 H)	13
予防査察行政の現状と課題	2	査察実習	7
消防同意	10	事例研究	4
査 察	24	行事その他	3
危険物規制	3	合 計	67

ウ 幹部教育

(ア) 上級幹部科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
管理職の役割	4	危機管理	4
人事管理	3	行事その他	3
業務管理	4	合 計	18

(イ) 幹部科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
講 話	1	現場指揮	22
消防時事	11	事例研究	9
消防財政	3	行事その他	3
人事業務管理	12		
安全管理	6	合 計	67

エ 特別教育

(ア) 操法指導員講習

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
ポンプ操法指導 (座学)	1	質疑応答・行事	2
ポンプ操法指導 (実技)	3	合 計	6

(イ) 救急高度化研修

※気管挿管病院実習前集中トレーニング (県MC関係)

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
救急概論 (MC関係含む)	5	試験 (筆記 2・実技 2)	4
救急実務 (法規・訴訟対策)	4	行事その他	3
実技訓練	18		
		合 計	34

(ウ) ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習 ※県MC関係

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
気管挿管に必要な解剖生理	1	技能検定	1
倫理・法令・事故防止・訴訟	2		
実技講習	3	合 計	7

(エ) 気管挿管技能認定救命士再講習 ※県MC関係

基礎知識・事故対策	2	技能検定・評価	2
実技講習	3	合 計	7

(オ) ドローン講習

基礎知識・関係法規	2	偵察活動部隊訓練	2
操縦訓練	3	合 計	7

② 消防団員に対する教育

ア 基礎教育

- (ア) 1日入校 ※希望する消防団と協議
 (イ) 校外教育 ※希望する地区消防協会及び消防団と協議

イ 専科教育

警防科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
火災防ぎよ総論	1	救助資機材取扱い	3
火災実験・P運用・消火活動	4	行事その他	2
情報管理	2		
災害概論・防災	1	合 計	13

ウ 幹部教育

(ア) 指揮幹部科（現場指揮課程）

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
講話	1	地域防災指導訓練	2
災害概論	1	救命・搬送訓練	2
火災防ぎよ・災害用資機材	2	行事その他	2
安全管理・情報伝達等	2	合 計	12

(イ) 指揮幹部科（分団指揮課程）

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
講話	1	災害対応図上訓練	2
訓練礼式	1	関係法令等	2
防災対策（砂防）	2	行事その他	2
安全管理・現場指揮	2	合 計	12

エ 特別教育

(ア) 操法講習

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
ポンプ操法要領（改正部分）	1	質疑応答	1
実地説明	2	合 計	4

(イ) 訓練礼式科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
訓練礼式の概要・参考映像	1	行事その他	4
実技訓練	7	合 計	12

(ウ) ラップ科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
訓練礼式	1	行事その他	2
ラップ訓練（打楽器含む）	9	合 計	12

(エ) ドローン講習

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
基礎知識・法規	2	機材点検・整備	1
実技講習	3	合 計	6

(オ) オフロードバイク講習

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
基礎知識・法規	2	機材点検・整備	1
実技講習	3	合 計	6

(カ) 受託教育

指導員研修	※年度ごと、消防協会と協議の上カリキュラムを作成	12
副団長研修	※ 同上	3

③ その他の教育

ア 自衛消防隊科（一般企業対象）

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
自衛消防隊の任務	1	救出・搬送訓練	1
火災実験・煙体験	2	行事その他	1
消火・避難誘導訓練	2	合 計	7

イ 女性消防隊科

教 科 目	時間数	教 科 目	時間数
火災防ぎょ総論	1	避難器具	1
消火訓練・P運用	2	行事その他	1
煙体験	1	合 計	6

ウ 県庁自衛消防団

別途、担当部局と調整	6
------------	---

(6) 令和5年度 年間教育カレンダー

長野県消防学校 (令和5年3月末現在)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	昭 和 の 日
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日

5 令和4年度教育訓練実施状況

(1) 消防職員に対する教育訓練

① 初任科

教育訓練実施期間	期 別	教育期間 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	卒業者数 内 女性	卒業者階級別内訳				
						司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
令和4年4月12日～令和4年9月18日	65	160	105	697	75 (8)					75

② 専科教育

※ 105日のうち新型コロナウイルス感染症蔓延により5日間休校
教育時間数 732時間(当初計画) - 7×5=697時間

科 別	実施期間	期 別	教育期間 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数 内 女性	修業者階級別内訳				
							司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
救 助 科	令和4年9月27日 ～ 11月2日	32	37	26	180	31 (1)		2	12	7	10
特 殊 災 害 科	令和4年5月30日 ～ 6月8日	15	10	8	53	26 (0)		11	15		
火 災 調 査 科	令和4年11月22日 ～ 12月7日	50	16	11	74	35 (0)		13	9	7	6
危 険 物 科	令和4年12月12日 ～ 12月16日	38	5	5	34	28 (1)		7	11	7	3
救 急 科	令和5年1月5日 ～ 3月2日	26	57	39	271	52 (6)				1	51
予 防 査 察 科	令和5年2月6日 ～ 2月17日	55	12	10	67	35 (1)		4	17	6	8
合 計			137	99	679	207 (9)	0	37	64	28	78

③ 幹部教育

科 別	実施期間	期 別	教育期間 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数 内 女性	修業者階級別内訳				
							消 防 監	司 令 長	司 令 補	副 士 長	士 長
幹 部 科	令和5年1月23日 ～ 2月 3日	41	12	10	67	30 (0)			13	17	
合 計			12	10	67	30 (0)	0	0	13	17	0

④ 特別教育

科 別	実施期間	期 別	教育期間 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数 内 女性	修業者階級別内訳				
							司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
操法指導員講習	令和4年4月6日	26	1	1	6	60 (0)	8	18	27	6	1
救 急 高 度 化 研 修	令和5年3月13日 ～ 3月17日	22	5	5	34	19 (1)			4		15
ビデオ硬性挿管用 喉 頭 鏡 講 習	令和4年12月 8日・9日	5・6	2	2	14	68 (3)	15	24	27		2
気管挿管再講習	令和4年12月21日	22	1	1	7	34 (2)	6	12	9	3	4
ドローン講習	令和4年10月11日	1	1	1	7	25 (0)	1	12	8	3	1
合 計			10	10	68	206 (6)	30	66	75	12	23

(2) 消防団員に対する教育訓練

① 基礎教育（校外教育、1日入校）

	実施日	実施延日数	実施実日数	教育時間数	受講者数		実施団体
						内女性	
1	中止					()	松本消防協会
2	令和 4年10月30日	1	1	3	234	(5)	諏訪消防協会
3	中止					()	県消防協会(ラッパ講習会)
4	中止					()	飯伊消防協会
5	中止					()	須高消防協会
6	中止					()	上小消防協会
7	中止					()	南佐久消防協会
8	中止					()	大北消防協会
9	中止					()	北佐久消防協会
10	令和 4年5月14日	1	1	3	126	(0)	木曾消防協会
11	中止					(0)	阿南地区消防団
合計		2	2	6	360	(5)	

② 専科教育

科 別	実施期間	期 別	教育期間 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数		修業者階級別内訳							
							内女性	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員		
警 防 科	中止						(0)								
合計			0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	

③ 幹部教育

科 別	実施期間	期 別	教育期間 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数		修業者階級別内訳						
							内女性	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	
指揮 幹部科	現場 指揮課程	令和5年 3月10日 ～3月11日	13	2	2	12	31	(0)		4	12	1	14	
		令和5年 3月17日 ～3月18日	14	2	2	12	27	(0)		2	9	5	11	
	分団 指揮課程	令和5年 3月 3日 ～3月 4日	7	2	2	12	52	(0)		11	27	4	10	
		※ 現場指揮・分団指揮両課程 修了者					2	(0)		1	1			
合計			6	6	36	110	(0)	0	17	48	10	35	0	

※ 現場指揮・分団指揮両課程修了者は合計に含まない。

④ 特別教育

科 別	実施期間	期 別	教 育 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数		修業者階級別内訳					
						内女性		副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
操 法 講 習	令和4年4月16日		1	1	4	144	(0)	1	6	5	12	69	51
	令和4年4月23日		1	1	4	147	(0)	1	6	4	12	69	55
ドローン講習	令和4年10月15日	3	1	1	6	13	(0)		2	1		4	6
オフトバイク講習	令和4年10月22日	3	1	1	6	10	(0)		1			7	2
訓練礼式科	令和4年11月18日 ～11月19日	98	2	2	12	41	(1)			2	14	17	8
ラップ科	令和4年11月 4日 ～11月 5日	103	2	2	12	19	(0)			1	3	5	10
	令和4年11月11日 ～11月12日	104	2	2	12	13	(0)		2	1		5	5
合 計			10	10	56	387	(1)	2	17	14	41	176	137
受託教育 副団長講習	令和4年 6月11日	AM	0.5	0.5	3	26	(0)	県消防協会から依頼東北信地区					
		PM	0.5	0.5	3	61	(0)	県消防協会から依頼中南信地区					
受託教育 指導員研修	令和4年12月15日 ～12月16日		2	2	14	29	(0)	県消防協会から依頼					

(3) その他の教育

a

科 別	実施期間	期 別	教 育 日 数	教 育 実日数	教 育 時間数	修業者数		備 考
						内女性		
自衛消防隊科	中止						()	
女性消防隊科	令和4年11月24日	20	1	1	6	6	(6)	
県庁自衛消防隊科	中止						()	
合 計			1	1	6	6	()	

6 資料

(1) 令和4年度消防本部別修業者数

科 別 本部名	初 任 科	救 助 科	特 殊 災 害 科	火 災 調 査 科	危 険 物 科	救 急 科	予 防 査 察 科	上 級 幹 部 科	幹 部 科	操 法 指 導 員 講 習 科	救 急 高 度 化 研 修 科	ビ デ オ 硬 性 挿 管 用 喉 頭 鏡 講 習 科	気 管 挿 管 再 講 習 科	ド ロ ー ン 講 習 科	合 計
長野市消防局	10	3	4	4	2	6	4		4	7	4	19	6	0	73
松本広域消防局	14	3	3	4	3	8	4		2	2	3	13	1	0	60
佐久広域連合 消防本部	7	5	3	6	7	5	7		6	7	2	7	2	3	67
諏訪広域消防本部	9	4	5	6	3	4	4		2	6	2	3	3	3	54
上田地域広域連合 消防本部	8	3	1	1	1	7	1		5	8	0	4	6	3	48
飯田広域消防本部	7	2	1	4	4	5	4		2	7	2	8	5	1	52
上伊那広域 消防本部	4	3	4	3	4	2	4		3	6	3	0	7	3	46
岳南広域消防本部	5	2	1	1	1	5	1		1	2	0	5	0	0	24
千曲坂城消防本部	0	2	1	1	0	1	2		2	3	0	0	0	3	15
北アルプス広域 消防本部	3	1	1	2	1	3	1		1	3	0	1	1	3	21
須坂市消防本部	3	1	0	2	1	2	2		0	3	1	4	1	0	20
木曾広域消防本部	3	1	1	0	1	3	1		1	3	1	2	0	3	20
岳北消防本部	2	1	1	1	0	1	0		1	3	1	2	2	3	18
合 計	75	31	26	35	28	52	35	0	30	60	19	68	34	25	518

(2) 令和4年度市町村別修業者数(団)

市町村	科別 期別	警防科			指揮幹部科			操法講習		ドローン講習	ワード講習	訓練 礼式科	ラップ科		自衛消防隊科	女性消防隊科	計
		中止	現場指揮		分団指揮	4月16日	4月23日	3	3	98	103	104	中止	20			
			13	14											7		
市	長野市			2	1	11					1	1					16
	松本市		1		1		14				4		1				21
	上田市		4		2	14	9	5	10			2	2			3	51
	岡谷市					6	6										12
	飯田市		3		2		2	1				1					9
	諏訪市													2			2
	須坂市				5						3						8
	小諸市				4	5	4				7	1					21
	伊那市																
	駒ヶ根市			2		19							1				22
	中野市		7			6						1					14
	大町市			2	3		15				2		2				24
	飯山市			9								3					12
	茅野市					9	9				2	3					23
	塩尻市					5											5
	千曲市					8	9										17
	佐久市		2			5	5										12
	東御市					6											6
	安曇野市						4										4
南佐久郡	小海町																
	佐久穂町		2			4						1					7
	川上村																
	南牧村																
	南相木村																
	北相木村																
北佐久郡	軽井沢町					4					1						5
	御代田町				1							1					2
	立科町																
小郡	長和町																
	青木村					2											2
諏訪郡	下諏訪町				1		2					1					4
	富士見町											3					3
	原村						5										5
上伊那郡	辰野町																
	箕輪町																
	飯島町																
	南箕輪村																
	中川村			4													4
宮田村																	

市町村	科別 期別	警防科 中止	指揮幹部科			操法講習		トロン 講習 3	ワード 講習 3	訓練 礼式科 98	ラッパ科		自衛 消防 隊科 中止	女性 消防 隊科 20	計
			13	14	7	4月16日	4月23日				103	104			
下伊那郡	松川町		5			5									10
	高森町				7										7
	阿南町														
	阿智村														
	平谷村														
	根羽村		1		1										2
	下条村														
	壳木村														
	天龍村														
	泰阜村														
	喬木村		2		2		3								7
	豊丘村			4											4
木曾郡	大鹿村														
	上松町									2					2
	南木曾町			1	5	12				5			2		25
	木曾町		1		2	12				4	1				20
	木祖村			2		4							1		7
	王滝村					5				1	1				7
東筑摩郡	大桑村		3			6				3					12
	麻績村														
	生坂村														
	山形村														
	朝日村														
北安曇郡	筑北村			1				3		3					7
	池田町				1	2									3
	松川村						4	2							6
	白馬村					12									12
埴科	小谷村						10	2							12
	坂城町														
	上高井														
下高井	小布施町				4	3				1		2			10
	高山村					5						1			6
	山ノ内町				2										2
上水内	木島平村				1										1
	野沢温泉村					4				3					7
	信濃町					9									9
下水内	飯綱町				7		7								14
	小川村														
栄村															
合計			31	27	52	144	147	13	10	41	19	13		6	503

(3) 過去10年の卒業生・修業者数

()内女性数

科目		年度											
		25	26	27	28	29	30	元	2	3	4		
消防職員	初任教育	初任科	74	80	76	71(5)	64(2)	66(4)	67(3)	71(9)	56(5)	75(8)	
	専科教育	救助科	35	34	25	28(0)	29(0)	32(0)	中止	30(1)	33(0)	31(0)	
		特殊災害科	29	29	23		33(0)			29(0)		26(0)	
		警防科	36	35	37	44(0)		36(0)	中止		37(0)		
		火災調査科	45	44	45	42(1)	43(0)	38(1)	44(0)	37(0)	39(1)	36(0)	
		危険物科	35	32	33	33(1)	33(0)	30(0)	30(0)	中止	27(2)	28(1)	
		救急科	60	63	48	52(1)	48(2)	47(1)	49(1)	51(1)	40(3)	52(6)	
		予防査察科	35	33	37	36(0)	37(1)	38(0)	42(0)	39(2)	35(1)	35(1)	
	幹部教育	上級幹部科	20	19	21	19(0)	21(0)	23(0)	19(0)		19(0)		
		幹部科	17	20	23	23(0)	25(0)	24(0)	26(0)	24(0)	中止	30(0)	
	特別教育	専門課程	操法指導員講習	70	68	64	63(0)	63(0)	63(0)	63(1)	48(0)	57(0)	60(0)
			山岳救助						20(0)	20(0)	中止	20(0)	
			山岳救助特別聴講						16(0)	20(0)			
			高度近代型救助										
指揮隊運用													
		震災対応技術	32	33									
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習								72(2)	72(5)	68(3)	
		気管挿管再講習	22	18	17	31(1)	28(0)	32(3)	38(1)	36(4)	36(2)	34(2)	
		薬剤投与追加講習						20(4)					
		拡大2行為等追加講習		98	73	43(8)							
		救急高度化研修	35	39	41	36(5)	30(3)	31(2)	29(0)	24(3)	22(7)	19(1)	
		AED指導員講習											
消防団員	基礎教育	1日入校											
		校外教育	4375	5251	4240	3607(41)	3962(64)	3179(49)	3315(50)	22(0)	262(2)	360(5)	
	専科教育	警防科							中止	14(0)	7(0)	中止	
		幹部教育	幹部科	122	121								
			指揮幹部科	現場指揮課程			85	70(0)	73(0)	70(0)	51(0)	34(1)	中止
	分団指揮課程					49	60(1)	52(1)	49(0)	22(0)	24(0)	中止	52(0)
		※現場・分団両課程			3	3(0)	2(0)	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)	
	特別教育	操法講習	379	364	366	332(0)	318(1)	399(0)	355(0)	8(1)	50(1)	291(0)	
		ドローン講習								12(0)	25(0)	13(0)	
		オフロードバイク講習								12(0)	13(0)	10(0)	
訓練礼式科		66	59	54	56(0)	54(0)	49(0)	51(0)	24(0)	25(0)	41(1)		
ラッパ科		69	59	73	71(3)	77(1)	69(1)	62(1)	12(0)	36(1)	32(0)		
受託教育		副団長講習	79	96	76	97(0)	89(0)	98(0)	74(0)	中止	61(0)	89(0)	
		指導員研修	36	30	31	33(0)	36(0)	35(0)	33(0)	中止	33(0)	33(0)	
その他	自衛消防隊科	37	54	35	36(0)	29(3)	25(0)	23(1)	中止	中止	中止		
	女性消防隊科	20	20	9	21(21)	36(36)	18(18)	23(23)	10(10)	中止	6(6)		
	県庁自衛消防隊	32	31	29	25(4)	29(4)	39(7)	33(3)	中止	中止	中止		
	救命・緊急対応体得宿泊研修	18	18	18	18(2)	25(3)	12(0)						
計		5778	6748	5631	0	4947(94)	5234(121)	4558(90)	4489(84)	633(34)	1473(34)		

令和元年度は台風19号災害、2・3・4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部訓練が中止

※ 現場・分団両課程修了者は合計に含まず

(4) 長野県消防学校管理規程（抄）

（趣 旨）

第1条 この規程は、長野県消防学校規則（昭和43年長野県規則第40号。以下「規則」という。）第26条の規定により長野県消防学校の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（入校推薦書等）

第2条 規則第14条に規定する入校推薦書は、次の各号に掲げる区分に従い、当該各号に定める様式によるものとする。

消防職員・団員	(1) 消防職員が初任教育の課程に入校を希望するとき	様式第1号
	(2) 消防職員が専科教育/幹部教育/特別教育に入校を希望するとき	様式第1号の2
	(3) 消防団員（消防事務に従事する職員を含む。）が学校教育の各課程に入校を希望するとき	様式第1号の3
女性消防隊員	(4) 女性消防隊員が入校を希望するとき	様式第1号の4
自衛消防隊員	(5) 自衛消防隊が入校を希望するとき	様式第1号の5

(5) 前各号による入校推薦書について、消防学校長（以下「校長」という。）が認める場合は、別に定める様式により提出させることができる。

2 前項による入校推薦書のほか、校長が認める場合は、必要な書類を提出させることができる。

（入校許可通知）

第3条 規則第14条に規定する入校許可通知は、様式第2号によるものとする。

（宣誓書）

第4条 入校生は、入校に際して宣誓書（様式第3号）を提出するものとする。ただし、校長が認める場合は、省略することができる。

（授業時間）

第5条 授業時間は、別表のとおりとする。

（欠席届）

第6条 規則第15条に規定する欠席届は、様式第4号によるものとする。

（退校願）

第7条 規則第16条に規定する退校願は、様式第5号によるものとする。

(卒業証書等)

第8条 規則第19条に規定する卒業証書は、様式第6号によるものとし、修業証書は、様式第7号によるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。

(長野県消防学校入校手続きに関する要綱の廃止)

2 長野県消防学校入校手続きに関する要綱（平成11年4月1日制定）は、廃止する。

(経過処置)

3 この規程の施行前に作成した用紙については、当分の間使用することができる。

4 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

5 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

6 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

7 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(別 表)

授 業 時 間 割 表

区 分	時 間
第1時限	9 : 0 0 ~ 9 : 5 0
第2時限	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0
第3時限	1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
第4時限	1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 5 0
第5時限	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 5 0
第6時限	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 5 0
第7時限	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 5 0

(様式第1号) (第2条関係)

入校推薦書

年 月 日

長野県消防学校長 様

任 命 権 者

下記の者を 初任科 第 期に入校させたいので推薦します。

記

階 級	フリガナ 氏 名	生 年 月 日 (年 齢)	性 別	採用年月日	連絡先電話番号
備 考					

(注) 1 この様式は、消防職員初任教育に用いること。

2 年齢は、入校日現在とすること。

担当者所属 TEL Eメール 担当者

(様式第1号の2) (第2条関係)

入校推薦書

年 月 日

長野県消防学校長 様

任 命 権 者

下記の者を 科 第 期に入校させたいので推薦します。

記

階 級	フリガナ 氏 名	生 年 月 日 (年 齢)	性 別	採用年月日	連絡先電話番号
備 考					

(注) 1 この様式は、消防職員専科教育・幹部教育・特別教育に用いること。

2 年齢は、入校日現在とすること。

担当者所属

TEL
Eメール
担当者

入校推薦書

年 月 日

長野県消防学校長 様

任 命 権 者

下記の者を 科 第 期に入校させたいので推薦します。

記

階 級	フリガナ 氏 名	生 年 月 日 (年 齢)	性 別	入 団 年 月	連絡先電話番号
備 考					

(注) 1 この様式は、消防団教育に用いること。

2 年齢は、入校日現在とすること。

担当者所属

TEL
Eメール
担当者

(様式第1号の4) (第2条関係)

入校推薦書

長野県消防学校長 様

任命権者等

下記の者を 女性消防隊科 第 期に入校させたいので推薦します。

記

消 防 団 員 以 外 記 入 欄

市 町 村 名	
隊 の 名 称	

階 級	フリガナ 氏 名	生 年 月 日 (年 齢)	入 団 (隊) 年 月	連絡先電話番号

備 考

- (注) 1 この様式は、女性消防隊科教育に用いること。
2 年齢は、入校日現在とすること。

担当者所属 TEL Eメール 担当者

(様式第1号の5) (第2条関係)

入校推薦書

年 月 日

長野県消防学校長 様

所轄消防本部(局)
任命権者

下記の者を自衛消防隊講習に入校させたいので推薦します。

記

入校推薦者 氏名		生年月日	
性 別		年 齢	
事 業 所 名 称			
電 話 番 号			
業 種			

入校推薦者 氏名		生年月日	
性 別		年 齢	
事 業 所 名 称			
電 話 番 号			
業 種			

入校推薦者 氏名		生年月日	
性 別		年 齢	
事 業 所 名 称			
電 話 番 号			
業 種			

入校推薦者 氏名		生年月日	
性 別		年 齢	
事 業 所 名 称			
電 話 番 号			
業 種			

入校推薦者 氏名		生年月日	
性 別		年 齢	
事 業 所 名 称			
電 話 番 号			
業 種			

備 考			
-----	--	--	--

(注) 1 この様式は、企業等の自衛消防隊講習に用いること。

2 年齢は、入校日現在とすること。

3 備考欄に受講コースを記入すること。

担当者所属

TEL
Eメール
担当者

(様式第2号) (第3条関係)

消学第 号
年 月 日

様

長野県消防学校長

入 校 許 可 に つ い て (通知)

選考の結果、下記のとおり入校を許可します。

記

課 程	科 (第 期)
許 可 番 号	別紙のとおり
入 校 日 時	年 月 日 時 (厳 守)
宣 誓 書	消防職員にあつては、長野県消防学校管理規程第4条に基づ く宣誓書(様式第3号)(自筆)を入校日当日持参させてくださ い。
連絡事項	

(様式第3号) (第4条関係)

宣 誓 書

私（達）は、長野県消防学校入校に
消 防 職 員
当たり、消 防 団 員 としての責務を
自衛（女性）消防隊員
深く自覚し、校則を守り勉学に専念
することを、固く誓います。

年 月 日

長野県消防学校長 様

所 属

氏 名

(様式第4号) (第6条関係)

欠 席 届

寮室 号室 学籍 番 消防本部 (局) 氏 名

						教頭		教授		担当	
月 日 ()		確認									
欠席・見学・その他		時限	1	2	3	4	5	6	7	時間 [▽]	
(授業内容)	座学・実技										
	座学・実技										
	座学・実技										
(理由)											

修業確認 校長

(様式第5号) (第7条関係)

退 校 願

年 月 日

長野県消防学校長 様

科 (第 期)

氏 名

任命権者

印

下記事由により退校したいので承認してください。

記

第 号	割 印	年 月 日	本校初任教育 初任科(第 期) の課程を修了したことを証します	氏 名	卒 業 証 書
	長野県消防学校長 氏 名 印				

割 印	第 号
修 業 証 書	
氏 名	
本校 教育 科(第 期)の課程を修了したことを証します	
年 月 日	
長野県消防学校長 氏 名 印	

令和5年度 学校要覧

令和5年4月発行

編集・発行

長野県消防学校
〒388-8002
長野県長野市篠ノ井東福寺2375-1
電話 026-292-2580
FAX 026-292-6654
電子メール shobogakko@pref.nagano.lg.jp

消防学校までの所要時間
 長野IC又は更埴IC～車で10分～15分

